

平素より、本校教育活動にご理解・ご支援をいただきまして、誠にありがとうございます。

第1回学校評価アンケート、全国学力・学習状況調査の結果をまとめましたのでお知らせします。

これらの結果を分析し、今後の教育活動に活かしていきたいと思います。

ご協力ありがとうございました。



第1回学校評価アンケート結果

児童・保護者・教職員が同じ項目について、児童は自分の行動について、保護者や教職員は、子どもへの働きかけについて実現度を振り返っていただきました。

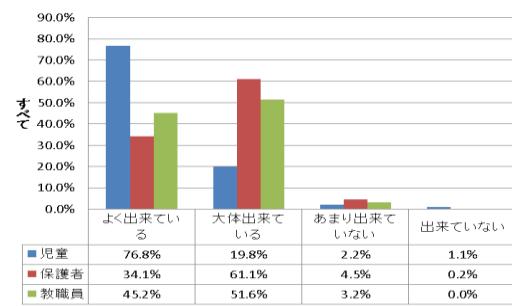
番号	項目	観点	質問内容	児童実現度	保護者実現度	教職員実現度
1	生活に関すること	B	進んであいさつをする	88.9	86.5	96.8
2		B	学校に楽しく通う	92.7	94.3	100
3		B	ルールを守る	94.7	95	100
4		B	友達と仲良くする	96.6	95.2	96.8
5		B	ていねいな言葉づかいをする	80.4	75.1	90.3
6		B	掃除や整理整頓をする	83.5	59.4	90.3
7		C	進んで体を動かす	84.7	75.6	83.9
8		BC	自分(児童)の良さを認める	70.4	82.4	96.8
9		BC	困ったときは先生に相談する	78.4	91.4	100
10		BC	PTAや地域の行事に参加する	54.5	56.9	67.8
1	学習に関すること	A	授業がわかる	90.1	80.5	100
2		A	人の話をしっかりと聞く	92.4	88.2	100
3		A	友達と協力して学習を進める	91.7	66.3	100
4		A	宿題や家庭学習をしっかりとする	91.3	83.2	100
5		A	進んで読書をする	75.7	54.1	85.2
1	その他	B	学校の様子を伝える	85.1	84	76.2

実現度は「よく出来ている」「大体出来ている」を合わせた結果

観点
・『時』を大切にし、今は何をするときか よく考えて行動する砂川の子 (確かな学力)・・・A
・『絆』を大切にし、ともに伸びようと 努力する砂川の子 (豊かな心)・・・B
・『命』を大切にし、心と体を鍛える砂川の子 (健やかな体)・・・C

【生活に関すること】(実現度)

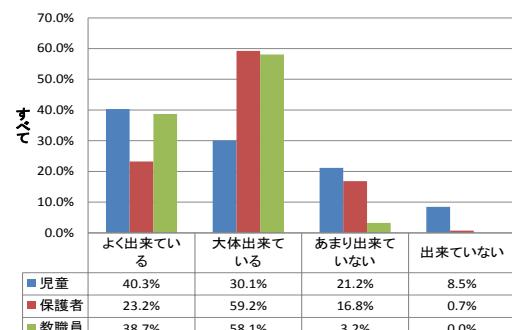
④友達と仲良くする



今年もとてもよい結果となりました。砂川小学校の子どもたちは、とても仲がいいです。児童・保護者・教職員ともに実現度が高い結果となっています。各クラスで良好な人間関係を築くことを心がけてきたことに加え、集団登校や縦割り活動など他学年とのつながりが深まるような取組の積み重ねが大きいのではないかと考えています。また、保護者や地域の方々に見守っていただいていることも安心して学校生活を送る大きな支えになっていると感じています。

今後も居心地がよく温かい人とのつながりが感じられる学校を目指します。

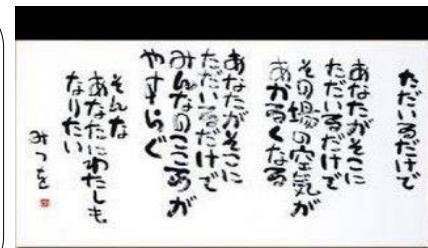
⑧自分(児童)の良さを認める



自分に自信がもてず、自分の良さを認める自己肯定感が低い子どもの割合が高かったです。授業や様々な取組の中で、「できた。」と実感する小さな成功体験を積み重ねられる場をもつと設定ていきたいと思います。また、良いところを見逃さず、気持ちを込めてほめることを積み重ねていきたいと思います。

あたたかい声かけを通して、「弱いところ」「ダメなところ」もあるけれど、一生懸命に生きている自分の存在そのものを承認し肯定できるように、支え、励ましていくだけでなく、子どもの成長に合わせて、声のかけ方にも配慮していきたいと思います。

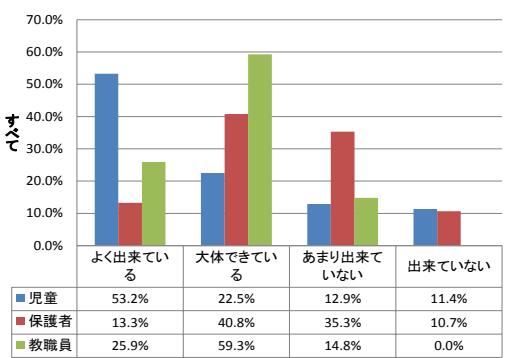
ご家庭でも、さらに子どもの話に耳をかたむけていただきたいと思います。毎日、忙しいので、つい、「あとでな。」「さっさとしいや。」と後回しにしたり、せかしたり・・・。ほっこりと、どんなことも聞いてもらえる瞬間、そのままの自分を受け止めてもらえていると全身で感じる日々の積み重ね。学校と家庭と地域とが一緒にになって子どもたちの自己肯定感を高めていけたらと思います。



詩人、
相田みつを
さんのステ
キな言葉で
す。

【学習に関すること】(実現度)

⑤進んで読書をする



読書に関する自己評価は、児童・保護者・教職員とともに「できている」と感じている割合が今回も低かったです。しかし、各自の机の横にいつもかけているブックバッグの活用や図書館割当を決め使用時間を確保するなどの取組を加えたこともあり、昨年度より児童 73.5%⇒75.7%，保護者 51.5%⇒54.1%，教職員 83.4%⇒85.2%と成果が見られました。他にも読書タイム、お話の会、読書週間、読書ハーフマラソンなどの取組を積み重ねることで読書の習慣は少しずつ身に付いてきているようです。国語科の関連図書を紹介したり、調べ学習の機会を増やしたりして、学校図書館をさらに活用できるようにしていきます。

ご家庭でも読書の楽しさを共有していただけたらと思います。

《自由記述欄より》 抜粋

- 毎日、楽しく学校に行って、元気に帰ってきていることをうれしく思っています。いつも、ありがとうございます。
- 担任の先生には、困ったことがあった時、いつも助けていただき、すごく感謝しています。行事や普段の授業などにも全力で取り組んでいただき、素敵な景色を見せてくださるおかげで、私も子どもも学校に行くのがとても楽しいです。
- 忘れ物が多いので、帰る前にみんなに向かってもう一度、確認する声かけをしてもらえたならありがたいです。
- もう少し、ほめてやりたいなと思いつつ出来ていません。反省。学校にはつらつと通っていく姿に嬉しさと先生への感謝を感じています。
- なかなか読書の習慣が身に付かないで、親も一緒に読書する習慣をつけようと思います。
- かわいいさぎをありがとうございます。みんなでかわいがって育ててください。
- 学校の様子をホームページでもっと多く見たいです。
- OPTAの行事運営の負担が大きく、本当に必要な行事に絞った方がよいと思います。



《学校運営協議会理事会より》

- のびのびと一人一人が個性を發揮できるような取組を積み重ねほしい。
- 家庭学習の習慣化では、保護者の協力が必要。
- 縦割りの関係を大切にし、雑談の中で読書の楽しさを伝え合えるようになるとよいのでは。
- 本を読むうちに自己表現の仕方がわかるようになる。
- 小学校に入るまでに、絵本を見ながら読み聞かせを聞く⇒文字の獲得⇒本を読む・・・。という本に親しむしかけが必要。
- 砂川小では、意識して取り組んでいるので、あいさつをする子が増えている。縦割りの関係をしっかりと今後も積み重ね、たくさんのネットワークを駆使していろいろな問題の早期発見に努めるとよい。
- 生活アンケートと学校評価アンケートの結果をクロス集計して、それぞれのデータをリンクさせて見ていくとより子どもの姿がつかめるのではないか。
- ていねいな言葉づかいだけでなく、ていねいな文字を書くということも大切にしてほしい。
- 自己評価が低いのは、自分の目標設定が高すぎるのではないか。
- 勉学が進むと、逆に自信がなくなることが出てくるのでは。
- 地域が元気で協力していろいろな取組を進めている。子どもたちや保護者への呼びかけをして、さらに参加者が増えるとうれしい。
- スクールカウンセラーの働きで、困りや悩みを抱えた子どもや保護者が癒されていることは大きい。



貴重なご意見をありがとうございました。今回のアンケートの結果や自由記述のご意見については、教職員で話し合う機会をもちました。教職員一同力を合わせて、今後の教育活動に活かしていきたいと思います。ご多用の中、アンケートにご協力いただき、本当にありがとうございました。

※ 全国学力・学習状況調査における京都市の結果は下記ホームページに掲載されています。

京都市教育委員会ホームページ
<http://www.city.kyoto.lg.jp/kyoiku/page/0000158413.html>

平成30年度 全国学力・学習状況調査の結果

4月17日に、本校6年生を対象に実施された『全国学力・学習状況調査』について結果がまとまりました。本調査は、国語・算数・理科の3教科のテストとともに、家庭での過ごし方や学習時間を問う調査も実施されています。生活習慣と学力との関係など本校の子どもたちの状況をお伝えします。

国語A、算数Aは、全国平均を下回る結果となりました。基礎・基本の定着が不十分なため、まだまだ、繰り返し、復習を積み重ねる必要があると考えます。

国語B、算数B、理科では全国平均を少し上回りました。(京都市平均と比べると同じか、やや下回っています。)これは、研究教科である算数を軸として、授業の中でじっくりと考え、表現する活動を継続して行ってきた、授業改善の結果であると考えます。全教科において、ノート指導を徹底し、最後までやりきらせる指導を積み重ねてきたことも成果として出てきたのではないかと思われます。また、無回答の問題が少なくなっていることから、問題に対して投げ出すことなく立ち向かっていく姿勢が育ってきたことが伺えます。

児童質問紙において、読書時間に関する質問や新聞を読んでいるかを問う質問では、低い数値となっており、まだまだ、活字を読む習慣化が図れるような取組を積み重ねていくことが大切であると考えます。

- ・「のびっこタイム」で、繰り返し、下の学年の問題も含めた基礎・基本の問題に取り組む。
- ・宿題・自主学習を毎日することを継続する。
- ・漢字の習得のため、文章の中で、漢字が使えるような形式のテストをしたり、作文などの中にできるだけ既習の漢字を使うように声かけをしたりしていく。
- ・授業の目標・道筋・ゴールを明確にした授業を継続する。
- ・算数の授業での問題解決的な学習の仕方をさらに他の教科にも広げ、深化させていく。
- ・児童が自分の課題を見つけて、意欲的に自主学習を毎日行うことができるよう学び方を示し、やりきらせる。
- ・昼の帯時間の読書タイムを積み重ねる。
- ・学校図書館を活用した調べ学習を積み重ねる。
- ・学校司書と連携を図り、授業に関連した図書を教室や廊下に置き、興味をもって読書に取り組めるようにする。
- ・学校だより・学年だより・クラスだよりなどで、本の紹介をする。
- ・図書ボランティアさんや教職員による読み聞かせを積み重ねる。

以上のような取組を積み重ねることにより、より確かな学力を身に付けることへと発展させ、本校の学校教育目標（自ら学び 自らを鍛え 『絆』を大切にする砂川の子）の実現に近づけていきたいと考えています。

全国調査は、子どもたちの学習状況を知り、子どもたちの可能性を伸ばしたり、課題を解決したりしていくためのものです。結果が学力の全てを表しているのではなく、順位を競うものではありません。

学力は、学校・家庭・地域での地道な積み重ねにより定着していくものであり、望ましい生活習慣や日々の学習習慣がその基盤となります。今回の本校の結果を見ると、子どもたちの学力は着実に伸びてきており、ご家庭での子どもに対する積極的な関わりや指導・支援の結果が表れています。

引き続き、子どもたちの健やかな育ちや学びの環境づくりにご協力をお願いします。